



㊦ しっかりかんがえ ㊦ もいやりのある ㊦ みんななかよし 潮見っ子

光る海 20 号



令和5年9月22日

校長 惣田 正宏



ホームページ

明日は「秋分の日」。これからが秋本番です！

明日は「秋分の日」です。秋分は、暦でいう秋の真ん中にあたり、昼と夜の長さがほぼ等しくなります。秋のお彼岸の中日でもあります。今までは秋といっても、まだまだ残暑厳しく汗をかくことが多かったのですがこれからは、少しずつ秋が深まり、子供たちが秋らしい季節を感じながら、過ごしやすい環境の中で学習活動を送られるようになるといいですね。

さて、夏休みの間入院していたウサギの「コッペ」が、やっと退院しました。手術した左目は、まだ痛々しいのですが、少し目も開いて、盛んに前足で顔の毛づくろいをしているので痛みは感じていないようです。食欲も戻り、うんちからも健康状態はよさそうです。今回、お世話になったのは山中動物病院ですが、1カ月の入院やそれに関わる諸費用、炎症を防ぐ注射や抗生剤等、学校の飼育動物ということで費用を免除してもらいました。そして、本当に親身になって元気になるまでお世話していただきました。学校では、専門的な対応はできませんが、子供たちと一緒にコッペの様子をしっかりと見守っていきたいと思います。

元気なコッペが帰ってきました！



福祉について考えよう！ 9月14日・20日

4年生は、佐世保市社会福祉協議会の方々の支援を受けて、「福祉」について総合的に学んでいきます。

14日は、その1回目。そもそも「ふくし」って何？というところからスタートしました。福祉は、みんなが幸せに暮らすためにあること、そのための助け合う社会、思いやりのある地域をつくるのが大事で、お互いを知ることがとても大切なことを学びました。そこで、お互いを知るために「わたしと友達の同じところとちがうところ」をワークシートに書き込み、隣同士で確かめ合いました。お互いを知ること、自然と笑顔になります。その後、地域のバリアフリーを見つけに校外へ出かけました。

21日は、視覚障がい者である、牟田口さん（牟田口治療院）をお招きしました。牟田口さんの目が見えなくなりたいきさつ、県立盲学校での学校生活の様子、卒業して、一人東京で生活したこと、健常者と一緒に鍼灸の技術を身につけたことなどの話をしていただきました。自分で原稿を作り、点字によってその原稿が出てくる機器を使ってのお話でした。真剣に話に耳を傾けながら、質問をする子供たち、いろいろなことに気づき、学びを深めているようでした。また、この点字が出てくる機器に興味津々で、休み時間になると牟田口さんの周りに寄ってきて触らせてもらっていました。この他、白杖やふたの開く腕時計、視覚障がい児（者）のための定規や分度器、点字を実際に作成する機器などを見せてもらいました。ノートを見ると、この学習でなければ学べなかった視覚障がい者の世界について感じたこと、思ったことをたくさん書いていました。



2学期の読み聞かせスタート！ 9月15日

先週から2学期の読み聞かせがスタートしました。まず、1・2年生です。1年生は、英語での読み聞かせで分かりやすい絵の指差しと英単語の組み合わせでなんとなくわかったような気がしている1年生です。まさしく英語のシャワーです。2年生は、面白い音がたくさん出てくる絵本でした。その音を聞きたび、笑顔があふれる2年生でした。



6年生を探せ！全校かくれんぼ 9月15日

15日のふれあいタイムは、6年生が企画した「全校かくれんぼ」で楽しみました。6年生が学校内にかくれて、1・5年生と一緒に縦割り班で、2～4年生は、学級の班でチームを組んで、ミッション「かくれた6年生を探せ！」、校舎のどこかに隠れている6年生を見つけ出すことに挑戦しました。6年生を見つけたら名前を呼んで、その場で「確保」します。そして、一緒に放送室まで連行(笑)していきます。ゲームを企画した6年生も、それを探す下級生もとても楽しそうでした。こういうふれあい活動を通して、全校のみんなが仲良くなれたらと思いました。



鮮鼓堂工場見学(3年生) 9月15日

3年生と3組が社会科見学で「鮮鼓堂」の工場見学へ出かけました。佐世保駅から松浦鉄道に乗り、中里にある工場の見学です。大雨の心配もありましたが、朝から雨が降っていませんでした。松浦鉄道が運行していたことで実施に踏み切りました。途中の歩きの場面では、雨で靴の中まで濡れてしまいましたが、全員、3組さんもしっかりと歩くことができました。みんなで松浦鉄道に乗ったことは楽しかったようでした。鮮鼓堂に着いたら、製造工場では博多の味「明太子」ができる工程を見学しました。ていねいな説明があり、その工夫もよくわかりました。どの子も熱心にメモを取ることができました。実際に工場見学や想定したことを質問等ができたことで貴重な学びをすることができました。最後に全員に明太子のプレゼントがありました。



平和学習発表(5年生) 9月19日

8月31日の平和集会での4年生の発表に続いて、19日の児童集会で5年生が各学級に出向き、長崎見学をはじめ、平和学習で学んだことを発表しました。

それぞれの班でスライドを作成し、相手意識(何年生で発表するか)を持って工夫された発表でした。先週から1週間延びてやりにくかったでしょうが、しっかりとどの班も頑張ることができました。



全国学力・学習状況調査の結果について(対象:6年生)

4月18日実施

※全国学力調査(国語・算数) 長崎県学力調査(理科)

○調査対象児童数 全国小学6年生 約104万人(国語・算数) 長崎県の6年生(理科)

○調査結果【教科】

【国語】 全国・県・市平均を大きく上回っている。

良かったところは、言葉の特徴や使い方に関する事項や情報の扱い方に関する事項が共によくできていました。また、選択する問題より記述式の問題の正答率が高い反面、書くこと自体には苦手意識があるようです。どの問題でも最後まであきらめず取り組んでいて、無回答が少なく、全国の1/3程度でした。

【算数】 全国平均とほぼ同じ。 県・市平均を上回っている。

良かったところは、数と計算・変化と関係・データの活用の3領域及び、知識・技能を活用する問題で、全国平均を上回っていました。苦手なところは図形の領域でした。国語と同様、記述式の問題の正答率が高く、どの問題でも最後まであきらめず取り組んでいて、無回答が少なく全国の1/2程度でした。

【理科】 県・市平均をやや下回っている。

良かったところは、磁石の性質や流れる水の動きと土地の変化、昆虫の体のつくりで、県平均を大きく上回っていました。苦手なところは、植物の発芽・成長・結実と空気と水の性質でした。国語・算数同様、ほとんどの児童は、無回答がなくテストへの取組がよいことが分かりました。



※学習状況調査(児童全員に質問紙調査)

○調査対象児童数 約80万人を対象としてオンライン方式にて実施。

○調査結果【本校の特徴としたあげられるもの】

- ・人が困っているときは進んで助けているや自分と違う意見について考えることは楽しい、地域や社会をよくするために何かしたいと思っている割合が全国平均より20%近く高いことがわかりました。反面、友達関係に満足しているや将来の夢を持っている児童の割合は20%近く低いことがわかりました。
- ・学習塾や家庭教師の先生に教わっている児童の割合が高く、結果、学校の授業以外に、普段2~3時間以上勉強している児童の割合が高いこと、また、新聞を読んでいる児童の割合が高いことがわかりました。

